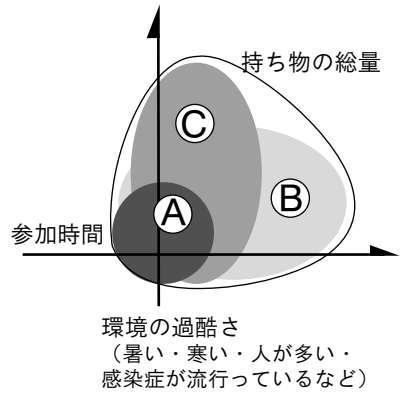




●持物三分之計

コミケットに参加する際に必要な物は色々あるが、一般参加者であればそれらは、大きく3つに分けることができる。『自分自身の活動を助ける物』『同人誌の購入などの目的に必要な物』『特別な状況に対応するための物』というカテゴリー分けから、コミケットの参加装備を考えてみよう。

持ち物の重さやサイズが大きくなりすぎて、それに体力を奪われたのでは本末転倒なので何でもかんでも持っていくことはできないが、長時間過酷な環境下で過ごし、購入するものが多いほど、必要な持ち物は増える道理なので、この3つのカテゴリーに合わせて自分の体力や参加時間に合わせて適切な量と内容の持ち物を考えよう。



A『自分自身の活動を助ける』持ち物

コミケット会場へ行くには交通費がかかり、入場するには入場チケット(リストバンド)が必要だ。今どきスマホや携帯のバッテリーが切れれば色々詰む。暑さ対策や補給のことも考えなければ会場で力尽きてしまうかもしれない。コミケット参加日1日を想定して、出発から帰宅するまでの間に必要になりそうな物が、このカテゴリーだ。参加目的や参加する時間、会場での滞在時間などによって多少変わるが、基本的に全参加者必携の物が多い。

●リストバンド入場証、両替した購入資金入財布、飲物、予備バッテリー、行動食など

B『同人誌の購入などの目的に必要な』持ち物

これは参加者個人個人で大きく変わる装備だ。朝から並び、閉会までチェックしたサークルを巡る参加者もいれば、短時間友人のサークルを訪ねるだけの参加者もいる。そもそもサークル参加が目的、コスプレをしたり、撮影するのが目的という参加者もいる。どのくらい同人誌や企業のグッズを購入する予定なのかなど、自分の目的に応じた装備を揃えよう。特に購入した同人誌やグッズをどう傷めずに持ち帰るかは事前から十分に検討しておくべきだ。

●容量が大きめの丈夫なバッグ類、サブバッグ、保護用プラケースや防水用ビニールパックなど

C『特別な状況に対応する』持ち物

コミケットに参加すれば、殆ど丸1日の外出になるが、その最中に何らかのアクシデントやトラブルが発生しないとも限らない。急な雨や、階段で足を踏み外して捻挫した、会場や交通機関で体調を崩した、あるいは戦利品を入れた紙袋が破れた、などなど、想定外の事態が発生した際にも、ある程度でも対処可能な用意があれば余裕を持つことができる。

●防疫グッズ、救急用品や常備薬・メディカルカード、雨具、補修テープなど

■新開催スタイル対応持物リスト：<https://www.comi-navi.com/>



●雨対策は事前にが鉄則

夏の天気は不安定で、夏の雨は激しい。降りだしてから雨具や傘を出しても、ほとんどの場合間に合わずびしょ濡れになってしまう。

だからこそ、雨対策は降り出すまでが肝心なのだ。

靴、靴、帽子やウィンドブレーカーなどのナイロン製の上着には事前に防水スプレーを吹き付けておけば結構雨を防げるし、化繊の速乾性ウェアは濡れても夏なら乾く(乾いたタオルや着替えの用意があれば尚良い)。

空模様をよく見て、曇ってきて雨が降りそうなら早めに対策行動を始めよう。最優先で戦利品はビニールで包み、防水でないスマホ類や財布なども鞆に入れ、傘や雨具はすぐ取り出せるようにしておこう。濡れて、戦利品も台無しにしてしまってから後悔しても遅いのだ。

